

11 学校図書館教育

1 学校図書館教育の目的

学校図書館は、学校教育において欠くことのできない基礎的な設備であり、図書館資料を収集・整理・保存し、児童生徒及び教職員の利用に供することによって、学校の教育課程の展開に寄与するとともに児童生徒の健全な教養を育成することを目的としている。（学校図書館法）

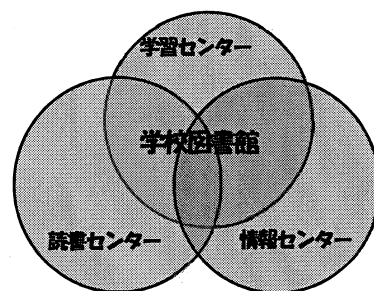
2 学校図書館教育の機能・役割

学校図書館は「学校教育の中核」として、それぞれの学校の教育目標にしたがい、子どもたちが読書習慣を身につけ、生涯にわたって学び続ける基礎的な力や人間性を育むために、相互に関連する以下の3つの役割を担っている。

読書センター…自由な読書活動や読書指導の場

学習センター…児童生徒の学習活動を支援したり、授業の内容を豊かにしてその理解を深めたりすること

情報センター…児童生徒・教職員の情報ニーズへの対応や、児童生徒の情報収集・選択・活用能力を育むこと



3 学校図書館教育で育成を目指す資質・能力

- 読書好きの子どもを増やし、確かな学力、豊かな人間性を育む
 - ・語彙や表現力を身につけることができる
 - ・想像力を育み、喜びや楽しさだけでなく負の感情体験をする
 - ・異なる価値観に出合う
- 授業で蔵書・新聞等を利活用し、思考力・判断力・表現力等を育む
 - ・単元テーマの背景や周辺知識を深める
 - ・ヒントやサンプルとなる多様な教材を通して主体的に考える
 - ・関連図書の活用により単元内容を深める
- 探究的な学習活動等を行い、子どもの情報活用能力を育む
 - ・探究的プロセスを繰り返し経験し、見通しを持つことができる
 - ・探究の各段階におけるスキルを獲得する
 - ・初めての状況においても見通しを持って対応できる



児童生徒は、探究的な学びのなかで課題解決の方法を繰り返し体験し、探究のプロセスを理解しスキルを身に付けることで、この先、未知の状況と出合ったときにも推論して課題解決に立ち向かうことが可能となります。また、教科内容に関連した資料や情報を活用することで、学習テーマが深め広げられ、自ら思考し判断する機会が創出されます。

鳥取県の一貫した学校図書館教育として、幼児期から本に親しむことを基盤として、小学校低学年・中学年・高学年、中学校、高等学校へと発達段階に応じて「学び方スキル」である情報活用能力を指導しましょう。それにより、情報活用能力を系統的・螺旋的に体得し、主体的・協働的に学び続ける大人になるよう生涯学習につなげていきたいと考えます。

◆学校図書館を活用することで身に付けさせたい情報活用能力

	幼稚園・保育所・認定こども園	小学校			中学校
		低学年	中学年	高学年	
育てたい子ども像	◆絵本や物語を楽しむ、表現することを楽しむ子ども	◆読書や調べる楽しさを知り、図書館の正しい利用の仕方を身に付けた児童	◆いろいろな種類の本を読み、課題解決に向けて、友達と関わり合いながら意欲的に学ぶ児童	◆目的に応じて、図書館を適切に利用し、学び方を身に付け、課題解決に向けて主体的・協働的に学ぶ児童	◆主体的に考えて判断し、課題解決に向けて多様な資料から必要な情報を活用することを通して、主体的・協働的に学び続ける生徒
課題設定と情報収集	○読み聞かせを楽しむ。 ○好きな本を見つけ絵本を楽しみながら読もうとする。	○身近なことや経験したことなどから興味・関心に応じて学習課題を決める。 ○題名や表紙などに着目して必要な図書を見つける。	○興味・関心に応じて具体的な課題を決める。 ○目的に応じて、複数の資料の中から必要な資料を選ぶ。	○目的を把握し、適切な学習課題を決める。 ○目的に応じて、複数の資料の中から課題解決に役立つか判断し、資料を選ぶ。	○学習課題を解決するための適切な資料や収集方法について考え、具体的な学習課題を立てる。 ○目的や意図に応じて多様な情報源を活用し、必要な各種資料を選ぶ。
情報の活用（選択・整理・分析）	○友達や先生の話に関心をもって聞こうとする。 ○図鑑を見て楽しく調べようとする。 ○友達の思いを受け止めようとする。	○資料の中から目的に合わせて情報を選ぶ。 ○気付いたことや分かったことを記録し、必要に応じて簡単な絵や文で書く。	○二つ以上の情報の中から、目的に合ったものを選ぶ。 ○必要な情報を箇条書きで要点をまとめる。	○複数の情報の中から、適切な方法を使って課題解決に必要なものを選ぶ。 ○事実、引用、要約などと自分の考えを区別して、分かりやすくまとめる。 ○構成、レイアウトを工夫したり、絵や文、グラフ、図や表などを使ったりして、効果的にまとめる。	○複数の情報を目的に応じて比較、分類、関連づけ、多面的・多角的に分析する。 ○様々な情報を比較、分類、単純化したり、情報追加したり、再構築したりする。 ○情報を整理して、目的や意図に応じてわかりやすく要点を押さえて自分の意見の関係を考えてまとめる。
情報の伝達と評価	○遊びに必要な言葉を使おうとする。 ○考えたことを自分なりに表現しようとする。 ○自分の思ったことを相手に伝えようとする。 ○友達や先生とのコミュニケーションを楽しむ。	○多様な発表方法を体験して表現する。 ○順序に気をつけて、わかりやすく伝える。 ○教師と共に課題を決め、内容の見通しを持って課題解決できたか振り返る。 ○友達の表現のよいところを見つけて感想を伝え合う。	○相手や目的に応じて適切な表現方法を選んで表現する。 ○自分の考えが分かるように筋道を立てて、相手や目的に応じて伝達する。 ○具体的な課題を決め、内容の見通しを持って計画を立て、課題解決できたか振り返る。 ○友達の表現のよさについて意見を述べ合う。	○目的や意図に応じて効果的に表現するよう工夫する。 ○考えたことや自分の意図が分かるように、構成を工夫しながら、目的や場に応じて伝達する。 ○課題が適切で、見通しを持って内容や方法について学習を立て、解決することができたか振り返る。 ○学習課題や学習過程について友達の表現のよさを伝えたり、助言したりする。	○表現手段の特徴を理解し、相手や目的、意図に応じて効果を考えながら工夫して表現する。 ○情報発信手段としての機器の特徴を理解し、根拠を明確にして効果的に伝達する。 ○課題が明確なもので、課題解決に向けての内容、方法、表現が効果的であったか振り返る。 ○表現、伝達されたものの中から、課題解決のために集めた情報の有効性、必要性、信頼性を判断し合う。
学校図書館の利活用に支援を必要とする子どもについては、実態やニーズに応じて、上記の表を活用する。					
※幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領、学習指導要領、鳥取県教育振興基本計画を基本に、横浜市教育委員会「学校図書館教育指導計画の手引き」、京都市教育センター「学校図書館の活用を通して付けたい力系統表(小・中学校版)」、松江市学校図書館支援センター「学び方指導体系表」を参考に作成					

4 教育課程編成上のポイント

学校図書館活用の推進には、学校長のリーダーシップのもと、全教職員で取り組む必要がある。学校図書館は、読書の場としてだけでなく、全教科全領域で授業に活用することが重要である。多様な資料を活用して授業を行うことで、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善、自主的、自発的な学習活動や読書活動の充実が図られる。そのためには、各教科・領域の年間計画に学校図書館活用を位置づけることが不可欠である。計画的な授業活用により、教科等を横断する汎用的なスキルである情報活用能力の育成が体系的に図られることとなる。

5 単元等配列例

4月には図書館の使い方や情報の探し方についてのオリエンテーションを行い、発達段階に応じて、図書館を有効に使えるようにしましょう。

	4月	5月	6月	7月	9月	1	
小学校	1年	(学)オリエンテーション ・活用の仕方 ・本の扱い方 (生)とよかんたんけん (国)ほんがたくさん	(国)ことばあそび (生)春の草花 (国)読み聞かせ	(国)どうやってみをまもるの な (国)えほんのならべかた (国)読み聞かせ	(国)おおきなかぶ (国)ほんはともだち (道)おこりじぞう	(国)いろいろなおはなしをよもう 「かいがら」 (国)かぞえうた	(生)はるにさく (国)ほんはとも (国)わたしのほ
	2年	(国)とよかんへいこう ・利用の仕方 ・絵本と913物語 (国)おはなしカードを書こう (国)かたかなで書くことば	(国)たんぼぼ (生)やさいをそだてよう (国)読み聞かせ	(国)お手紙 ・ローベルの本の読み比べ (生)ようこそ図書館 ・初めての図鑑 (生)夏が来たよ	(国)本はともだち (生)手話であらわそう (道)かわいそうなぞう	(国)言いつたえられているお話 を知ろう 「いなばの白うさぎ」 (国)読書のへや 「あしたもともだち」「ヨットカーの 作り方」	(国)どうぶつ のせがらう 「ビーバーの大 」
	3年	(国)本にしたしもう ・主な分類とラベル (国)お気に入りの本を紹介 (国)国語辞典の使い方を知ろう	(国)自然のかくし絵 (国)4分類の本 (理)図鑑の使い方	(総)地域のじまん調べ (国)インタビューをしてメモをと ろう	(国)俳句に親しもう (国)本は友達「本との出会い」	(理)こん虫のかんさつ (国)「ほけんだより」を読みくら べよう (国)こころにのこったことを	(国)感想を伝 「サーカスのラ (社)店ではた (社)農家の仕
	4年	(国)図書館へ行こう ・分類と書架 (学)漢字辞典の使い方	(国)ヤドカリとイソギンチャク (国)調べ学習の仕方 (総)バリアフリー調べ	(国)日本十進分類法のしくみ (総)情報モラル (国)ことわざブックを作ろう	(国)本は友達「本との出会い」 (総)手話で自己紹介	(国)身の回りの文章を読みくら べよう 「広告と説明書を読みくらべよ う」 (国)わたしの考えたこと	(国)ごんぎつ (国)ある人物 (国)日本語の
	5年	(国)本に親しもう ・NDCの仕組み (社)年鑑・資料の見方	(国)「動物の体と気候」 ・関連図書を読もう (総)キラリ!いのち (総)いのちの大切さ伝え隊	(総)いのちのマイブックを作ろう (総)赤ちゃん登校日 (国)新聞記事を持ち寄って (家)サラダ作り	(国)本は友達 (総)手話であいうえお (総)情報モラル ・インターネットと個人情報	(国)資料を生かして考えたこと を書こう (国)古文を声に出して読んで みよう	(国)物語の良 「注文の多い (理)雲と天気 (国)日本語の
	6年	(国)オリエンテーション ・自分の読書傾向と目標 (国)図書館へ行こう ・NDCの仕組み	(国)イースター島にはなぜ森林 がないのか (国)風切る翼と木村裕一 (社)歴史を図書で調べよう	(社)武士の世の中 (総)情報モラル ・インターネットとダウンロード ・ウィルス	(国)本は友達、6年生の本だ なう (総)手話で歌おう (理)自由研究のまとめ方 ・出典について	(国)資料を生かして呼びかけよ う (国)漢文を読んでみよう	(国)感動の中 「海のいのち」 (理)「月と太陽 (国)日本語の ・新聞記事を紹 ・秋の詩・俳句
<p>全教科、全領域で授業に活用することが大切です。国語で身に付けた知識・技能を他教科でも活用していくようにしましょう。多様な資料を活用して授業を行うことは、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を図ることにつながります。</p>							
中学校	1年	(学)図書館利用オリエン テーション (学)朝読書の本を選ぼう (国)調べ ・辞典、事典、インターネット、図 書館	(地)世界各地の人々の生活と 環境 (総)大山の自然と歴史 (国)わかりやすく説明しよう ・観点を立て、情報を集める (国)漢字の組み立てと部首	(国)「好きなものを紹介しま しょう」 (社)日本の姿を伝えよう (理)植物にはどんな仲間があ るか (英)まちに出かけよう (国)情報の集め方を知ろう	(国)私が選んだこの一冊 ・本の世界を知ろう ・本との出会い (社)身近な歴史を調べてみよう	(総)人権弁論に挑戦しよう	(総)障がい者
	2年	(国)広がる学びへ (地)世界と比べた日本と地域 的特色 (歴)社会の変化と幕府の対策 (理)化学変化と原子・分子 (英)A Friend in a Sister School	(国)多様な方法で情報を集め よう (国)メディアと上手に付き合うた めに ・著作権について知る (家)よりよい消費生活のために (英)A Trip to the U.K.	(地)世界と比べた日本の地域 的特色 (理)動物の生活と生物の進化 (国)短歌を味わう (国)魅力的な提案をしよう (英)Career Day	(特)職場体験をまとめよう (国)読書生活を豊かに ・読書案内を作ろう (国)本の世界を広げよう (英)プレゼンテーション「将来 の夢」 (道)金閣再建 黄金天井に挑 む	(国)根拠を明らかにして意見を 書こう(人権弁論) (国)かかわりの中で (地)日本の諸地域 (歴)近代国家の歩みと国際社 会 (英)Homestay in the U.S	(歴)欧米諸国 「化」 (国)気持ちを う (英)Universal (道)金閣再建 黄金天井に挑 む
	3年	(学)朝読書の本を選ぼう (英)辞書を使って	(国)漢字の読み方 (国)魅力的な紙面を作ろう	(国)俳句を味わう	(国)読書生活をデザインしよう	(公)人権と共生社会 (総)人権弁論をまとめよう (英)Be proud of yourself (美)エコバックデザイン (国)写真を見て状況を読もう	(総)人権劇を (国)新聞の社 もう

※ (国) …国語 (社) …社会 (理) …理科 (生) …生活 (道) …特別の教科 道徳 (特) …特別活動 (地) …地理的分野
 ※例に取り上げた教科書 小学校国語：東京書籍 小学校社会：東京書籍 小学校理科：啓林館 小学校生活：大日本図書 小学校家
 開隆堂 中学校道徳：学研

0月	11月	12月	1月	2月	3月
花をそだてよう だち っけん	(生)あきとなかよし ・秋の草花や秋を使った遊びを 調べよう (国)いろいろなふね (図)おはなしのえをかこう	(国)いろいろなおはなしをよもう 「おとうとねずみチロ」	(国)むかしばなしをたのしもう (生)むかしあそびのめいじんに なろう (国)いろいろなやりかたをくら べてかんがえよう 「歯がぬけたらどうするの」	(生)ふゆとなかよし (国)じゃんけんやさんをひらこう 「じぶんのじゃんけんをかんが えよう」 (国)こえにだしてよもう 「スイミー」	(学)1年間の読書のようすをふ りかえろう (国)どくしょのへや 「はないっばいになあれ」
ひみつをみんな 工事」	(国)声やうごきであらわそう 「名前をみてちょうだい」	(国)むかし話をしようかいしよ 「かさこじぞう」	(国)「おばあちゃんにきいたよ う」 十二支、春の七草、小の月、い ろは歌	(国)あなのやくわりをかんがえ よう 「あなのやくわり」	(国)紙芝居をしよう 「ニャーゴ」 (国)「ことばのアルバム」をつく ろう (学)1年間の読書のようすをふ りかえろう
え合おう イオン」 らく人 事	(国)グループで話し合おう (国)慣用語を使おう (国)目次やさくいんを活用しよ う	(国)世界の物語をしようかい しよ 「はりねずみと金貨」	(国)わらい話を楽しもう (国)世界の家のつくりについて 考えよう「人をつつむ形ー世界 の家めぐり」	(国)町について調べて紹介し よう (国)いろいろな伝え方を知ろう	(国)音読発表をしよう 「モチモチの木」
ね になったつもりで 調べー秋	(国)お願いやお礼の手紙を書 こう (国)くらしの中にある「和」と 「洋」を調べよう 「くらしの中の和と洋」 (社)わたしたちの県	(国)読書会を開こう 「世界ー美しいぼくの村」	(国)日本語の調べー冬 (国)「百人一首」を声に出して 読んでみよう (国)わたしたちの生活とロボット について考えよう 「ゆめのロボット」を作る	(社)県の広がり (国)報告します、みんなの生活 (国)目的や形式に合わせて書 こう	(国)音読劇をしよう 「木竜うるし」(人形劇)
さを解説しよう 料理店」 の変化 調べー秋	(国)和の文化について考えよう 「和の文化を受けつー和菓子を さぐる」	(国)伝記を読んで感想文を書 こう 「手塚治虫」	(国)日本語の調べー冬 ・写真や絵を見て話し合おう ・自分の好きな季節について書 こう	(社)機械化した社会とわたした ちの生活 (国)伝えよう、委員会活動	(国)6年生に送る字をすいせん しよう
心をとらえよう 」 調べー秋 介し合おう ・短歌をつくらう	(国)町の未来をえがこう 「町の幸福論ーコミュニティデザ インを考える」 (理)大地のつくりと変化 (国)情報を活用するときに気を 付けよう ・メディアの使い方 ・著作権	(国)本を読んですいせんしよ 「ヒロシマのうた」	(国)いにしへの言葉に学ぶ	(社)「日本とつながりの深い 国々」 (国)出会いにありがとう (国)将来の夢や生き方につい て考えよう (国)6年間を振り返って書こう	(国)未来に向かって 「君たちに伝えたいこと/春 に」
理解のために	(国)話題や方向を捉えて話し 合おう	(国)本の世界を広げよう	(理)火山とはどのようなものか (国)自分を見つめて	(国)感じたことを文章に書こう	(国)言葉を探検する (理)地震とはどのようなものか (家)料理を作ってみよう
における「近代 込めて手紙を書こ Design	(歴)近代国家への歩み (歴)帝国主義と日本 (保)健康と環境 (国)いにしへの心を訪ねる (国)話し合って考えを広げよう (理)地球の大気と天気の変化 (英)Rakugo in English	(家)地域の食材と食文化 (国)本の世界を広げよう (英)プレゼンテーション「町紹 介」	(国)表現を見つめて (地)身近な地域の調査 (理)電流の性質とその理由 (英)The Movie Dolphin Tale	(国)情報を活用する (歴)アジアの強国の光と影 (地)世界の中で見た日本の文 化	(国)一年間の学びを振り返ろう (地)これからの日本と世界 (国)表現のしかたを工夫して書 こう (英)プレゼンテーション「好きな こと・もの」
考える 説を比較して読	(公)政府の役割と国民の福祉 (英)辞書を使って英作文を作 ろう (理)太陽系のなかま (国)いにしへの心と語らう ・お薦めの古典を贈ろう (家)保育実習に向けて調べよう	(公)これからの経済と社会 (国)余暇を生かした読書の薦 め (国)説得力のある文章を書く	(公)国際社会の仕組み (公)さまざまな国際問題 (音)世界の民族音楽 (英)辞書を使って	(理)自然のつり合いはどうか保た れているか (理)変化に富んだ自然を持つ 日本列島 (英)日本独自の文化を説明し よう (国)後輩に伝えたい言葉 (公)地球環境問題を考える	

(歴) … 歴史的分野 (公) … 公的分野 (家) … 家庭分野 (英) … 外国語 (英語)

庭：開隆堂 小学校道徳：学研 中学校国語：光村図書 中学校地理・歴史：帝国書院 中学校公民：東京書籍 中学校家庭：

6 学習指導要領における学校図書教育に関わる記述

※下線部分は、新学習指導要領において追加、変更等のあった内容

小学校	中学校
<p>●第1章 総則</p> <p>第3 教育課程の実施と学習評価</p> <p>1 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善</p> <p>(7) 学校図書館を計画的に利用しその機能の活用を図り、児童の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に生かすとともに、<u>児童の自主的、自発的な学習活動や読書活動を充実すること。また、地域の図書館や博物館、美術館、劇場、音楽堂等の施設の活用を積極的に図り、資料を活用した情報の収集や鑑賞等の学習活動を充実すること。</u></p>	<p>●第1章 総則</p> <p>第3 教育課程の実施と学習評価</p> <p>1 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善</p> <p>(7) 学校図書館を計画的に利用しその機能の活用を図り、生徒の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に生かすとともに、<u>生徒の自主的、自発的な学習活動や読書活動を充実すること。また、地域の図書館や博物館、美術館、劇場、音楽堂等の施設の活用を積極的に図り、資料を活用した情報の収集や鑑賞等の学習活動を充実すること。</u></p>
<p>●第2章 各教科</p> <p>第1節 国語</p> <p>第2 各学年の目標及び内容</p> <p>〔第1学年及び第2学年〕</p> <p>1 目標</p> <p>(3) <u>言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。</u></p> <p>2 内容〔思考力、判断力、表現力等〕</p> <p>C 読むこと</p> <p>(2) (1)に示す事項については、例えば、次のような言語活動を通して指導するものとする。 ウ学校図書館などを利用し、<u>図鑑や科学的なことについて書いた本などを読み、分かったことなどを説明する活動。</u></p> <p>〔第3学年及び第4学年〕</p> <p>1 目標</p> <p>(3) <u>言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。</u></p> <p>2 内容〔思考力、判断力、表現力等〕</p> <p>C 読むこと</p> <p>(2) (1)に示す事項については、例えば、次のような言語活動を通して指導するものとする。 ウ学校図書館などを利用し、<u>事典や図鑑などから情報を得て、分かったことなどをまとめて説明する活動。</u></p> <p>〔第5学年及び第6学年〕</p> <p>1 目標</p> <p>(3) <u>言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。</u></p> <p>2 内容〔思考力、判断力、表現力等〕</p> <p>C 読むこと</p> <p>(2) (1)に示す事項については、例えば、次のような言語活動を通して指導するものとする。 ウ学校図書館などを利用し、<u>複数の本や新聞などを活用して、調べたり考えたりしたことを報告する活動。</u></p> <p>第3 指導計画の作成と内容の取扱い</p> <p>1 指導計画の作成に当たっては、次の事項に配慮するものとする。</p> <p>(6) <u>第2の第1学年及び第2学年の内容の〔知識及び技能〕の(3)のエ、第3学年及び第4学年、第5学年及び第6学年の内容の〔知識及び技能〕の(3)のオ及び各学年の内容の〔思考力、判断力、表現力等〕</u></p>	<p>●第2章 各教科</p> <p>第1節 国語</p> <p>第2 各学年の目標及び内容</p> <p>〔第1学年〕</p> <p>1 目標</p> <p>(3) <u>言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。</u></p> <p>2 内容〔思考力、判断力、表現力等〕</p> <p>C 読むこと</p> <p>(2) (1)に示す事項については、例えば、次のような言語活動を通して指導するものとする。 ウ学校図書館などを利用し、<u>多様な情報を得て、考えたことなどを報告したり資料にまとめたりする活動。</u></p> <p>〔第2学年〕</p> <p>1 目標</p> <p>(3) <u>言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。</u></p> <p>〔第3学年〕</p> <p>1 目標</p> <p>(3) <u>言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。</u></p> <p>第3 指導計画の作成と内容の取扱い</p> <p>1 指導計画の作成に当たっては、次の事項に配慮するものとする。</p> <p>(6) <u>第2の第1学年及び第3学年の内容の〔知識及び技能〕の(3)のオ、第2学年の内容の〔知識及び技能〕の(3)のエ、各学年の内容の〔思考力、判断力、表現力等〕の「C読むこと」に関する指導については、様々な文章を読んで、自分の表現に役立てられるようにするとともに、他教科等における読書の指導や学校図書館における指導との関連を考えて行うこと。</u></p> <p>2 第2の内容の取扱いについては、次の事項に配慮するものとする。</p> <p>(3) 第2の内容の指導に当たっては、<u>学校図書館などを目的をもって計画的に利用しその機能の活用を図るようにすること。</u></p>

<p>の「<u>C読むこと</u>」に関する指導については、<u>読書意欲を高め、日常生活において読書活動を活発に行うようにするとともに、他教科等の学習における読書の指導や学校図書館における指導との関連を考慮して行うこと。</u></p> <p>2 第2の内容の取扱いについては、次の事項に配慮するものとする。</p> <p>(3) 第2の内容の指導に当たっては、<u>学校図書館などを目的をもって計画的に利用しその機能の活用を図るようにすること。その際、本などの種類や配置、探し方について指導するなど、児童が必要な本などを選ぶことができるよう配慮すること。</u>なお、児童が読む図書については、人間形成のため偏りがないよう配慮して選定すること。</p>	
<p>●第2節 社会</p> <p>第3 指導計画の作成と内容の取扱い</p> <p>2 第2の内容の取扱いについては、次の事項に配慮するものとする。</p> <p>(2) 学校図書館や公共図書館、コンピュータなどを活用して、<u>情報の収集やまとめなどを行うようにすること。また、全ての学年において、地図帳を活用すること。</u></p>	<p>●第2節 社会</p> <p>第3 指導計画の作成と内容の取扱い</p> <p>2 第2の内容の取扱いについては、次の事項に配慮するものとする。</p> <p>(2) 情報の収集、処理や発表などに当たっては、<u>学校図書館や地域の公共施設などを活用するとともに、コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を積極的に活用し、指導に生かすことで、生徒が主体的に調べ分かつようとして学習に取り組めるようにすること。その際、課題の追究や解決の見通しをもって生徒が主体的に情報手段を活用できるようにするとともに、情報モラルの指導にも留意すること。</u></p>
	<p>●第6節 美術</p> <p>第3 指導計画の作成と内容の取扱い</p> <p>4 学校における鑑賞のための環境づくりをするに当たっては、次の事項に配慮するものとする。</p> <p>(1) <u>生徒が造形的な視点を豊かにもつことができるよう、生徒や学校の実態に応じて、学校図書館等における鑑賞用図書、映像資料等の活用を図ること。</u></p>
<p>●第5章 総合的な学習の時間</p> <p>第3 指導計画の作成と内容の取扱い</p> <p>2 第2の内容の取扱いについては、次の事項に配慮するものとする。</p> <p>(7) 学校図書館の活用、他の学校との連携、公民館、図書館、博物館等の社会教育施設や社会教育関係団体等の各種団体との連携、地域の教材や学習環境の積極的な活用などの工夫を行うこと。</p>	<p>●第4章 総合的な学習の時間</p> <p>第3 指導計画の作成と内容の取扱い</p> <p>2 第2の内容の取扱いについては、次の事項に配慮するものとする。</p> <p>(7) 学校図書館の活用、他の学校との連携、公民館、図書館、博物館等の社会教育施設や社会教育関係団体等の各種団体との連携、地域の教材や学習環境の積極的な活用などの工夫を行うこと。</p>
<p>●第6章 特別活動</p> <p>第2 各活動・学校行事の目標及び内容</p> <p>〔学級活動〕</p> <p>2 内容</p> <p>(3) <u>一人一人のキャリア形成と自己実現</u></p> <p>ウ <u>主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用学ぶことの意義や現在及び将来の学習と自己実現とのつながりを考えたり、自主的に学習する場としての学校図書館等を活用したりしながら、学習の見通しを立て、振り返ること。</u></p>	<p>●第5章 特別活動</p> <p>第2 各活動・学校行事の目標及び内容</p> <p>2 内容</p> <p>(3) <u>一人一人のキャリア形成と自己実現</u></p> <p>ア <u>社会生活、職業生活との接続を踏まえた主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用現在及び将来の学習と自己実現とのつながりを考えたり、自主的に学習する場としての学校図書館等を活用したりしながら、学ぶことと働くことの意義を意識して学習の見通しを立て、振り返ること。</u></p>

鳥取県立図書館 学校図書館支援センター

学習指導要領に基づいた様々な実践を支援します。ぜひご利用ください。



学校図書館活用教育推進に資する研修及び情報提供を行い、学校教育をバックアップします。県立図書館のホームページ内「学校図書館支援センター」のページに、学校図書館の運営や調べ学習に役立つ資料とサービスを紹介しています。授業活用見本図書セットの貸出サービスや授業実践事例、授業に使えるブックリスト、図書館活用教育に役立つリンク集等について掲載しています。

問合せ先 学校図書館支援センター 電話 0857-26-8155
代表メール toshokan@pref.tottori.lg.jp

7 図書館資料を活用した授業実践例

○小学校 第4学年 社会「鳥取県を調べよう」

「鳥取県紹介パンフレット」を作ろう～県の主な産業や自然について調べてまとめる～

◆学校図書館活用教育のねらい

- 鳥取県の自然・産業の主な特徴に興味をもち、自分の課題に沿って調べ、「鳥取県紹介パンフレット」を作るための大テーマを決めることができる。
- パンフレットやリーフレット、新聞記事などファイル資料の活用について知るとともに、パンフレットづくりの注意点を知ることができる。

◆展開例

- ① 担任は、昨年度児童の作品成果物「鳥取県紹介パンフレット」を紹介し、学習目標と単元の見通しを持たせる。
- ② 司書教諭が例示用の「鳥取県紹介クイズ」をプレゼンテーション用ソフトウェアで投影し、鳥取県についての主な産業や自然に興味づける。
- ③ 学校司書が、ファイル資料等の図書以外の資料について紹介する。
- ④ パンフレット作成のポイントを押さえる。
- ⑤ 児童は、ワークシートに記入しながら、「農業」「観光」「水産業」「自然」などの大テーマから課題を選択する。

◆司書教諭と学校司書の関わり

- ・司書教諭は昨年度までの作品成果物やワークシートをもとに教員と相談して、学習計画を立て、調べる方法、表現方法、必要な資料について事前に話し合う。
- ・学校司書は作品・成果物を提供し、保存する。
- ・司書教諭は、児童が興味を持つ例示用の「鳥取県紹介クイズ」(プレゼンテーション)を作成する。
- ・司書教諭と担任はワークシートの形式について話し合う。
- ・次時の調べ学習について、司書教諭と学校司書が授業支援をする内容や日程を話し合う。

◆指導のポイント

- ・パンフレット等の資料も図書館資料として調べ学習に使用できることをこの学習を機会に押さえる。
- ・教材を使ったプレゼンテーション、ワークシート、参考になる作品・成果物は毎年保存し、次年度改訂して活用する。
- ・県の観光DVD、JAのホームページ等多様な資料も準備する。
- ・学校司書と司書教諭は、日頃から県内のパンフレットや冊子を各公共機関や道の駅等で収集しておく。
- ・次時には、小テーマの絞り込みを指導する。

◆活用した図書館資料

「私たちの鳥取県」(鳥取県小学校社会科教育研究所)、「とっどりの農林水産業」(鳥取県農林水産部)、鳥取県発行リーフレット・パンフレット「鳥取観光ガイドマップ鳥取山陰」「ともに作ろう私たちの郷土」「食のみやこ鳥取県」「鳥取愛の味」「鳥取県はどこへ行っても楽しいゾ!」「鳥取ウェルカニ♪ガイド」、県立図書館発行郷土学習ガイド(パスファインダー)、新聞記事ファイル

○中学校 第3学年 国語「説得力のある文章を書く」

批評文を書こう～説得力のある言葉を効果的に引用しよう～

◆学校図書館活用教育のねらい

- 自分の意見を明確にして批評文を書くことができる。
- 活用資料を適切に「引用」することができる。

◆展開例

- ① 批評文を書く目的を確認し、例を参考に批評文に必要な要素や書き方を知る。
- ② 関心のあるポスターを選ぶ。
- ③ ポスターをいろいろな観点で分析し、ワークシートの手順に沿って（第一印象・問題提起・評価など）見方を深める。
- ④ 批評文を補う説得力ある言葉を文献（ことわざ辞典、名言集、言葉集等）の中から探し、引用する。
- ⑤ 批評文の構想を練り600～800字程度にまとめる。

◆司書教諭と学校司書の関わり

- ・学校司書は、教科担当教員から事前に授業計画を確認し、ワークシート・ポスターを保存する
- ・学校司書は言葉選びの本を収集する
- ・司書教諭は生徒へ引用の仕方について確認する
- ・学校司書はT2で支援する
- ・学校司書は批評文とポスターを掲示する

◆指導のポイント

- ・イメージする言葉は、本のタイトルや、目次を手がかりとする
- ・批評文が、好き嫌いや印象だけの評価にならないようにする
- ・図書館での授業なので、集めた資料だけでなく蔵書の全てが資料となる

◆活用した図書館資料

「ことわざ辞典」「ことわざ読本」「故事成語」「格言名言集」「世界名言集」「心に響く言葉」「用例でわかる四字熟語辞典」「世界名言格言辞典」「論語一日一言」「心にひびくマンガの名言」「声に出して読みたい日本語 12」 他70冊

8 特別なニーズのある児童生徒に対するサポート

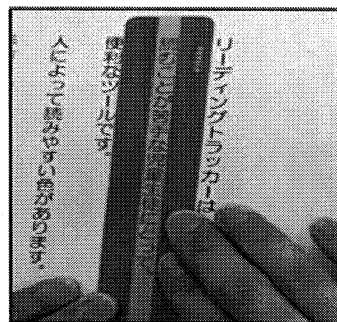
◆様々な資料の形態の例

- ・点字図書
- ・音訳図書（録音図書、DAISY図書）
- ・大活字本
- ・点訳絵本
- ・さわる絵本
- ・布絵本
- ・LLブック※
- ・マルチメディア図書
- ・マルチメディアDAISY図書
- ・電子書籍 等

※LLブック…知的障がいや発達障がいのある人などが読みやすいよう、写真や絵、絵文字、短い言葉などで構成された本。「LL」はスウェーデン語で「やさしく読みやすい」の意味。

◆人的サービスの事例

- ・文字を拡大する
- ・拡大写本を作成する
- ・読み仮名（ルビ）を付ける
- ・リーディングトラッカー（スリット）等を準備
- ・手話を活用する
- ・リライトする（分かりやすく書き換える）
- ・読み聞かせやストーリーテリングを行う
- ・対面朗読を行う
- ・図書館に来られない児童生徒のところに本を持っていく



リーディングトラッカーの使用

※学校図書館としての児童生徒の一人ひとりの困り感に応じて提供する「合理的配慮」とその土台になる「基礎的環境整備」が必要。

◆基礎的環境整備

- ①施設、設備のバリアをなくす
- ②補助具や機器を用意する
- ③バリアフリー資料を収集する 等

◆合理的配慮

- ①対面朗読（代読）の実施
- ②手話の利用
- ③ニーズに応じた文字の拡大、リライト、デジタル化 等